

教科・科目		対象学年	単位数	教科書(発行者)	補助教材(発行者)
地理歴史 ・ 地理 B		2年 (理系) (音系)	2	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)	新詳地理資料コンプリート 2018 (帝国書院) サクシード地理 (啓隆社) 地理 10 分間テスト (山川出版社) 地理用語集 (山川出版社)
科目の概要 と目標		地理的な諸問題について、基本的なことがらや研究方法を理解し、その知識を身につける。現代世界の地理的事象から地球的な課題を見つけ、それを地域性を踏まえて、多角的に考察する。			
授業の進め 方		<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や要点ノートを用いて基本的な知識の定着を図るとともに、地理的な見方や考え方を培う。</li> <li>地図・資料・データからその特徴を読みとり、課題を見つけて多角的に考察する。</li> </ul>			
評価の観点 と方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>中間考査・期末考査・実力テストなどの得点、課題への取り組み・提出状況などを総合的に評価する。</li> </ul>			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年 間 の 授 業 内 容	1	<b>【さまざまな地図と地理的技能】</b> 1 地理情報と地図 ① 現代世界の地図  ② 地図の種類とその利用  ③ 地理情報の地図化  2 地図の活用と地域調査  <b>【現代世界の系統地理的考察】</b> 1 自然環境 ① 世界の地形  ② 世界の気候  ③ 日本の自然の特徴と人々の生活  ④ 環境問題		現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。  地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。  地理情報の地図化について、地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気づき、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身につける。  地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技能を身につける。  世界の地形について、営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。  世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。  日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。  環境問題について、世界の環境問題の成因や特徴と対策、地域的な分布を大観し、さまざまな環境問題のうちから地球温暖化、森林破壊、砂漠化について、事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。	
	2	2 資源と産業 ① 産業の発達と変化  ② 世界の農林水産業  ③ 食料問題  ④ 世界のエネルギー・鉱産資源  ⑤ 資源・エネルギー問題		産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。  世界の農林水産業について、農業地域区分や、現代世界の農林水産業の現状と課題、及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。  食料問題について、世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し、発展途上国、先進国、日本についての事例を考察する。  世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。  資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。	
	3	⑥ 世界の工業  ⑦ 第3次産業  ⑧ 世界を結ぶ交通・通信  ⑨ 現代世界の貿易と経済圏		世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。  第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察する。  世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。  現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。	